



包装機械メーカーのオリオン機械工業は、シユ12を包装機械に採用...

オリオン機械工業 次世代包装機械を開発

リニアンス 段替え不要の高速搬送 テム採用

国際ロボット連盟 新会長 ファナック伊藤氏が就任

伊藤孝幸氏 国際ロボット連盟(IFA)は、新会長にファナックの伊藤孝幸氏を選出した...

azbil あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く

第11回ロボット大賞が決定

ファナック 加工ロボット、Preferred Robotics 搬送ロボットなど



第11回ロボット大賞が決定し、経済産業大臣賞のファナックの加工ロボット(M-800)...

安川電機 25年2月期第2四半期決算 売上高前年比9.5%減

安川電機は、2025年2月期第2四半期決算を発表し、売上高は前年比9.5%減...

灯台 先月、FA企業の広報マーケターが...

Power Reliability 安心24ソリューション DC電源安定供給! PHOENIX CONTACT

電気設計から製造までデータがつながる

Efficient Engineering is when a PLAN becomes EPLAN.

制御盤製造の最適化ソリューション

https://www.rittal.com/jp-ja/ e-mail: contact@rittal.co.jp

リタール株式会社

Empowering the All Electric Society

PHOENIX CONTACT

フエニックス・コンタクト株式会社
www.phoenixcontact.co.jp

Fukunishi

福西電機株式会社

本社 大阪市北区与力町7番5号
コーポレートサイト: https://www.fukunishi.com

Empower Connections

つながりに力を



【略歴】 株式会社 1951年東京生まれ、
（株） 柏内幸夫技術事務所 所長としてモ
の改善を通じて、世界中で実践している。日
本経済連の研修講師を務める。経済産業省先進技
術マイスター（平成29年度）、柏内幸夫技術士
事務所所長、改善コンサルタント、工学博士、技術
士（経営工学）、多摩大学工学部客員

新しい「モノ」づくりの考え方 第9回

日本カイゼンプロジェクト 会長 柏内幸夫

前回の最後、デジタル化を進めることでのレールの高い全体最適を達成することができると思っています。今回はお話をいたします。

①現場のカイゼン成果を全て数値化して評価する。生産性や品質のカイゼンをした結果、どのようにな成果が出たのか、誰がやったのか、というデータは社内では別々の部署が扱っています。例えば、品質データは総務、経理データは営業、販売、品管データは製造、果、過去と比較して何が

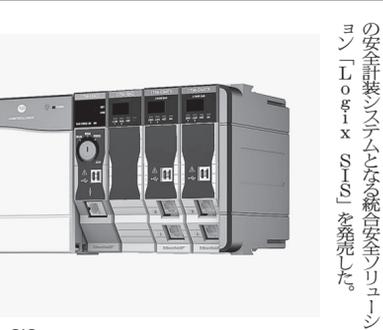
たっています。このように分散してデータを集めて計算すると、時間と十分なスキルがなくとも大変なことです。

②現在の生産状況の正確な把握
③現場の業務の特長を把握
④他部門の情報の正確な把握
⑤データの共有

この四つは前回はあきらめておりましたが、実行するに当たっては、たまたまの成功ではなく、再現性のあるものにしたいです。そのためには、まず、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。

これからの日本式デジタル化⑧

事例です。この四つは前回はあきらめておりましたが、実行するに当たっては、たまたまの成功ではなく、再現性のあるものにしたいです。そのためには、まず、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。



Logix SIS

「mevivy」スポット溶接 自動見積もり

「mevivy」の板金溶接で「スポット溶接」の溶接範囲が狭く、点で溶接するのでは熱によるひずみが出たり、仕上がりがきれいなめ、外観が気になるところ。溶接が気になるところ。溶接が気になるところ。溶接が気になるところ。

SIL2、3に準拠

統合安全ソリューション

ロックウェル・オートメーションは、最先端の安全システムとなる統合安全ソリューション「Logix SIS」を発表した。

同製品は、SIL2とSIL3準拠の統合安全システムで、幅広い産業用途に対応。安全性を確保する制御アプリケーションに欠かせない、プロセス・ロジック、PLC、5000 I/Oプラットフォーム、Studio

山洋電気 高静圧と高風量実現

38×28ミリ厚 DCファン

山洋電気は、業界トップクラスの静圧と高風量を実現した38×28ミリ厚のDCファン「San Ace 38」を発表した。

NSK クラウドとデータ連携

状態監視ソリューション

日本精工(NSK)は、機械設備の状態監視ソリューション「クラウドとデータ連携」を発表した。

オリエンタルモーター ロボット操作に特化

ティーチングペンダント

オリエンタルモーターは、ロボットコントローラ用ティーチングペンダント「T-W01」を発表した。

日本カイゼンプロジェクト

https://www.kaizenproject.jp

デジタルに強い若い人にと、前回はあきらめておりましたが、実行するに当たっては、たまたまの成功ではなく、再現性のあるものにしたいです。そのためには、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。そのためには、データの共有が必須です。

電気接触は、WashiONにおまかせください。

商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

<p>電源切替用開閉器 SSKシリーズ</p> <p>標準型・OFF位置付型・オーバーラップ型・高速動作型・手動操作型</p> <p>●高速動作 HTS TYPE</p> <p>●明時動作機械保持型 E TYPE</p> <p>●手動操作型 MO TYPE</p>	<p>高圧真空電源切替器</p> <p>●VSKシリーズ</p>		
<p>直流電磁接触器</p> <p>●KMDシリーズ</p>	<p>直流手動開閉器</p> <p>●BMSシリーズ</p>	<p>重負荷用電磁接触器</p> <p>●WCDシリーズ</p>	<p>高圧端子台</p> <p>●SNTシリーズ</p>

SSKシリーズ電源切替用開閉器・直流電磁接触器・補助継電器・端子台・オートメーションパーツ

WashiON株式会社
2024年10月から社名を変更しました

http://www.washion.co.jp

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.
OTAX SHANGHAI LIMITED
OTAX KOREA CO., LTD.
OTAX CO., LTD.
OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.
AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.
OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.
OTAX HONG KONG LIMITED
OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ
スライド
ピアノ
ロータリ

操作スイッチ
トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連
アルミニウム加工
MIM・精密ネジ

ヘルスケア
医療機器
ウェアラブル

コネクター
各種コネクター
テストソケット

端子台
FA用
エアコン用

otax オータックス株式会社
TEL : 045-543-5621
HP : www.otax.co.jp

本社：〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新町1215



見込顧客の創出
BtoB企業専門のマーケティング支援
株式会社メイテンス

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社 カナデン

生産設備の予知保全をIoTで効率化
https://lp.sukkha.net/
info@sukkha.net
EUKKHA

この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world, for the future.
HOKUYO
https://www.hokuyo-aut.co.jp/

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■オムロンとオムロンサイニックス、IROS2024で最新研究成果を8件発表

オムロン技術・知財本部と、オムロンサイニックス(OSX)は、ロボティクス分野の世界最大のカンファレンスである「IROS2024」で最新の研究成果を8件(技術・知財本部1件、OSX7件)発表した。

技術・知財本部からは「低コスト・高速・頑健なバラ積みピッキングシステム」について発表し、OSXからは「ヒューマン・ロボット・インタラクション研究のための安価なエアホッケープラットフォーム」や「シミュレーションから学習し実世界での追加学習なしに部品挿入を実現するソフトロボット「Saguri-bot(サグリロボット)」、 「複数モバイルロボットの協調移動により物体を操作する技術」などについて発表する。

■ECADソリューションズ、導入事例「アサヒ、若手社員の活躍で導入から1カ月で実稼働」公開

ECADソリューションズは、WIRE CAM DX導入事例として、アサヒ「若手社員の活躍で導入から1カ月で実稼働」を公開した。

アサヒは、1952年の創業で、制御盤の設計・製造と、医療機器の設計・製造(ISO13485取得)の2本柱で事業を展開。制御盤の組立・配線作業のベテラン依存と今後の制御盤メーカーの競争激化に危機感を覚え、「WIRE CAM DX」を導入。導入から1カ月で実稼働され、作業を標準化したことで未経験者でも入社当日から作業ができるようになり、作業員10人の新規採用と電線使用量30%削減を実現した。

事例では短期間での実稼働に至ったポイントや、導入により感じている効果などを解説している。

■RYODEN、オリジナル製品ブランド「RYODEN Tii!」の特設サイトを開設

RYODENは、オリジナル製品ブランド「RYODEN Tii!」の特設サイトを開設した。

RYODEN Tii!は、オリジナル製品群をくくるブランド。Tii!というネーミングは、英語の「This is it! (その手が、あったか。)」から発想し、まだ見ぬ課題を掘り出しアイデアを提案する、という意味が込められている。

未来のための。イーサネットの。METZ CONNECT
We realize ideas
国内販売輸入総代理店 Rinsconnect 株式会社リンスコネク

収集したデータの可視化・分析・制御により生産効率、エネルギー効率、環境最適化を実現する統合監視制御システム「Remces」やデータとデジタル技術を活用し、次世代農業・フードテック分野の商品やサービス、ビジネスモデルを革新するシステムとサービス「R-AX」などを展開している。

■東芝、複数の吸着パッドを持つロボットが正確・高速に対象物を掴む方法を計算するAIを開発

東芝は、深層学習を使って複数の吸着パッドを持つロボットハンドがピッキングする対象物の形状や姿勢に合わせてつかむ位置とつかみ方(把持計画)を正確かつ高速に計算するAI技術を開発した。

「把持計画」は、ロボットが物体を正確につかむための「位置推定」と「姿勢推定」から計算され、ピッキングロボットは、正確な把持計画を計算することで効率的かつ確実に物体を取り扱うことができ、従来自動化が難しかった、乱雑に置かれた、形状や外観の異なる物品のピッキング作業を自動化することができるようになる。

■東芝、上下水道統合プラットフォームや保護継電器などが2024年度グッドデザイン賞を受賞

東芝グループは、「上下水道統合プラットフォームTOSWACS-Nesta」、「保護継電器MCR30マルチリレー」、「小型CO₂分離回収装置TOMCAP mini」がグッドデザイン賞を受賞した。

「TOSWACS-Nesta」と「MCR30マルチリレー」は、東芝と東芝インフラシステムズ、TOMCAP miniは東芝と東芝エネルギーシステムズの共同応募による受賞。

■アドバンテック、9月26日開催のADF2024大阪レポートを公開

アドバンテックは、9月26日に大阪・梅田サウスホールで開催した「アドバンテックエンベテッド・デザイン・イン・フォーラム2024大阪(ADF)」のレポートを公開した。

イベントでは、さまざまなアプリケーションでのAI活用を可能にする最新組み込み製品や、共創パートナーによるハードウェアと連携したシステム・アプリケーションのデモを展示。また、Intel社、NVIDIA社、NXP社、Qualcomm社など業界をけん引するシリコンベンダー企業のテクノロジートークなどを実施した。

■カナデン、4コマまんがで分かるカナデン取り扱い製品「転倒検知送信機「EXH-TK12」」公開

カナデンは、4コマまんがで分かるカナデン取り扱い製品について、「転倒検知送信機『EXH-TK12』」を公開した。

同製品は、現場作業員の倒れ込みを検知し、大音量の警告音と無線信号を自動送信することで周囲と管理部門に異常を通知する。

■カナデン、製品サイトの掲載製品を10製品追加

カナデンは、取り扱い製品を紹介する「製品サイト」について、掲載製品を10製品追加した。追加したのは、ダイハンのトップランナー油入変圧

器、トップランナーモールド変圧器、APPLE TREEのワイヤレス3Dスキャニングシステム「NIMBLETRACK」、Bambu Labの業務用3Dプリンタ「Bambu Lab X1E」、ブルーの防塵・防水・耐衝撃iPadPro11(M4)用ケース、コタニの油吸着剤「SORB」など。

■ミスミ、メカニカル部品「納期割引サービス」3ヶ月で利用企業1万社突破

ミスミグループ本社は、提供するメカニカル部品の「納期割引サービス」について、2024年7月のサービス開始から3カ月で利用企業数が1万社を突破した。

「納期割引サービス」は、納期が10日以上であれば割引を行うサービスで、国内外の仕入先400社超をネットワーク化することで、最適調達によるコストダウンを実現した。

利用企業数1万社突破を機にサービスを拡大し、対象商品と値引率を拡大。まとまった数量の注文だった場合に最大30%引きを適用していたものを、部品1個の注文でも適用。より幅広いシーンで使えるように変更した。

■シーシーエス、AI外観検査システム導入事例「大森クローム工業、検査自動化で制度工場と生産効率化」公開

シーシーエスは、AI外観検査システムの導入事例として、大森クローム工業の「人による目視・触感検査から、検査自動化で精度向上と生産効率化を実現」を公開した。

工業用クロームめっき加工品の製造をしている大森クローム工業では、従来の目視・触感検査による不適合品の検出精度の向上には限界があり、検品工程の自動化を検討し、AI外観検査システムを導入。めっき後の外観検査の精度向上と時間短縮に成功した。

■サンワテクノスなど3社、JR西日本の観光列車「はなあかり」の間接照明を共同開発

サンワテクノスとホタルクス、JR西日本テクノスは、西日本旅客鉄道(JR西日本)が運行を開始した観光列車「はなあかり」について、客車の間接照明に採用された車両用調色調光LEDモジュールを共同開発した。

■サンコーシヤ、公式Xアカウントを開設

サンコーシヤは、公式Xアカウントを開設した。「今日のあたりまえが、明日もあたりまえであるために。」雷や雷防護製品について役立つ情報を掲載していく。

■ヒロセ電機、コネクタ冊子「CONNECTOR SELECTOR2024」お届けキャンペーン

ヒロセ電機は、コネクタ選定や調査に便利な専門ツール「CONNECTOR SELECTOR2024」の冊子版をプレゼントするお届けキャンペーンを実施している。CONNECTOR SELECTOR2024は、ユーザーが自

身でさまざまなコネクタを見比べて、最適な製品を見つけれられるツールとなっている。デスクに一冊置くことで、必要な時にサッと手軽にコネクタを調べることができる。

■日本ベアリング、スライドウェイハンドブック公開

日本ベアリングは、直線運動軸受の「スライドウェイ」を解説した「スライドウェイハンドブック」を公開した。スライドウェイを使ったことがないユーザーにも分かりやすいように、製品の特長や使い方を説明している。

イベントセミナー

■高木商会、11月13日オンラインセミナー「バーチャルPLCによる盤&ハードPLCレス化の実現」

高木商会は、11月13日にオンラインセミナー「バーチャルPLCによる盤&ハードPLCレス化の実現ーシュナイダーエレクトリック」を開催する。

セミナーでは、世界初のPLCがリリースされてから50年以上が経ち、インダストリー業界を取り巻く環境が大きく変わる中、PLCの生みの親であるシュナイダーエレクトリックが、現代のニーズに合わせた全く新しい制御システムの選択肢を提案する。次世代制御システムの紹介とシステムをバーチャルPLCとして活用し、盤レス・ハードPLCレス化を実現した事例を紹介する。

■フェニックス・コンタクト、11月12日ウェビナー「NFPA79 2024年改訂版とサイバーセキュリティ動向」

フェニックス・コンタクト、11月12日15時からウェビナー「NFPA79 2024年改訂版とサイバーセキュリティ動向」を開催する。

NFPA79は米国の産業機械の電気安全規格で、北米向けに機械・システムを販売する機械メーカーおよびシステムメーカー、北米に工場をもつユーザーにとって重要な技術規格の一つ。2024年改訂版が今年発行され、欧州機械規則でも要求されているサイバーセキュリティに関する事項も追加された。

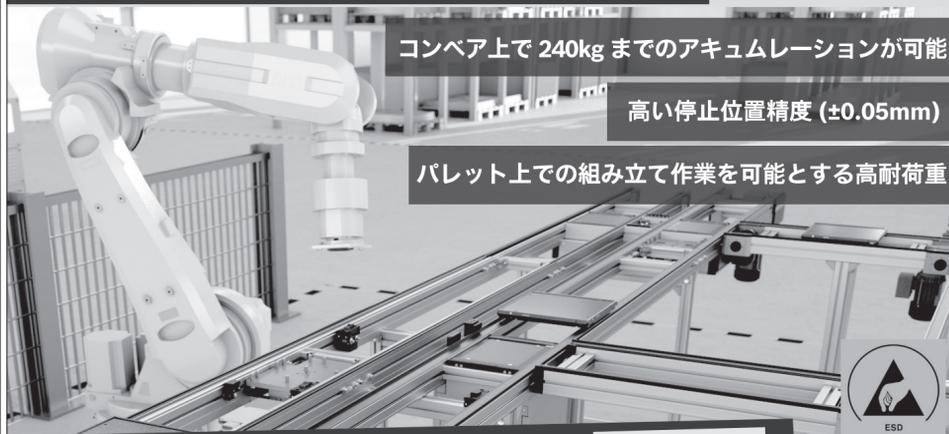
ウェビナーでは、デュフラインランドジャパンをゲストに迎え、「NFPA79 2024年改訂版とサイバーセキュリティ動向」について解説。また関連するネットワークセキュリティ製品、SPD(サージ保護機器)製品についても紹介する。

■岩崎電気、12月4・5日東京・品川でプライベート展「IWASAKI技術展」開催

岩崎電気は、12月4・5日に東京・品川インターシティホールでプライベート展示会「IWASAKI技術展ー未来のアタラシイを作るー」を開催する。

ボッシュ レックスロスの標準コンベア

TS 2plus (パレット式コンベア)



コンベア上で 240kg までのアキュムレーションが可能

高い停止位置精度(±0.05mm)

パレット上での組み立て作業を可能とする高耐荷重

カタログ品のラインナップはこちらより→

製品に関するお問い合わせ先:045-605-3028



VarioFlow plus (プラスチックチェーンコンベア)



自社製オリジナルコンベア

20年以上に渡る経験と実績

グローバルな供給網

ボッシュ・レックスロス株式会社

弊社はボッシュグループの産業機器テクノロジーを担っています。

rexroth

A Bosch Company

計測展OSAKA 2024

10月30日~11月1日 グランキューブ大阪

未来のものづくり社会を支える計測と制御技術の総合展
カーボンニュートラルへ はかる・見える・変える

未来のものづくり社会を支える
計測と制御技術の総合展
計測展
2024 OSAKA
2024.10.30-11.1
グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

計測展OSAKA 2024 (主催:日本電気計測器工業会)が、10月30日から11月1日にかけて大阪のグランキューブ大阪で開催される。会場では、「未来のものづくり社会を支える計測と制御技術の総合展」をコンセプトに、「カーボンニュートラルへ はかる・見える・変える」のメッセージのもと、カーボンニュートラル実現に向けた技

術や製品サービス、進化した計測・制御技術によって得られる緻密な計測データの有効活用法と生産現場の課題解決、工場やプラントをサイバー攻撃から守るOTセキュリティなどの最新情報を紹介する。講演やセミナーについても、経済産業省 近畿経済産業局の信谷和重局長による基調講演「大阪・関西万博を景気とした関西経済の活性

化に向けて」をはじめ、多くの講演・セミナーが予定されている。また学生向けの企画も用意しており、産学交流ゾーンで企業の理工系学生が人事担当者や交流できるほか、業界研究セミナー、企業ブス見学ツアー、理工系大学研究室の学生によるライトニングトークなども行われる予定だ。

主要FA企業ブース・出展内容紹介

アズビル

(ブース13)

計測制御の進化でつくる製造現場の未来
シン・オートメーションを提案

アズビルは、「計測制御の進化でつくる 製造現場の未来——シン・オートメーションで持続可能な社会へ——」をテーマに最新の計測制御技術を紹介する。FAゾーンでは、導入〜保守の運用負担を軽減するデジタル指示調節計、高速・高精度・高機能のフィードバック制御で品質向上に貢献するグラフィカル調節計、装置IoT化を支援するマルチベンダーIoTゲートウェイ、デジタルマスタフローコントローラ、MEMS加工技術でデポ対策を強化した真空計などを紹介する。PAゾーンでは、クラウド型バルブ解析診断など保全員や運転員の目線で作業効率化を実現する各種ソリューション、GXゾーンでは、見える化システムの導入から現場の省エネ活動まで、現場でのCO2削減の取り組み支援策を紹介



する。自律化ゾーンでは「自動化では到達できない生産性の飛躍とサステナビリティの実現」をテーマに、オンライン異常予兆検知システム「BiG EYES」を提案する。出展者セミナーでは、10月30日に「補助金活用でエネルギーコスト低減と高効率設備導入を同時に実現」と「マルチベンダーIoTゲートウェイで始める『製造DXの第一歩』」、10月31日に「バルブ解析診断サービスの最新動向」、11月1日に「HART通信の悩みを解決するスマートHARTモデムのご紹介」を予定している。

https://aa-industrial.azbil.com/jp/files/default/special/ja/event/mcsosaka/index.html

オーバー (ブースT6)

液体用電池駆動式 クランプオン形超音波流量計「UC-1」

オーバーは、流量計の新製品となる液体用電池駆動式クランプオン形超音波流量計「UC-1」を紹介する。

同製品は、配管外から簡単に取り付けでき、配管工事や設置過程の手間とコストを大幅に軽減。電池は長寿命(約10年)であり、外部電源も不要。取り付けは工具は不要で、1台で25~100Aまでの配管に対応し既存の設備にも容易に設置可能。無線通信を利用したデータ管理や遠隔監視が可能となっている。

このほか、ミスター省エネ対応パネルマウント形無線積算計「EL9240」、無線センサーネットワーク「省エネシリーズ」、耐圧防爆形ミスター省エネ、水



素計測用流量計などを展示する。

クーパー・インダストリーズ・ジャパン (ブース35)

防爆エリアの安心・安全なIT化
クーパー・インダストリーズ・ジャパンは、世界最大の24インチスクリーンを装備し、オペレーターが危険区域での視覚化を強化するのをサポートする本質安全防爆PCを紹介する。

本質安全防爆PCはタッチパネル機能を搭載し、快適で安全な操作が可能。モジュールコンセプトは国内防爆認定を取得しており、万が一の故障時にはワークステーション全体を交換する必要がない。各主要モジュールは個別に認定され、現場で交



換できるため現場での作業負担とメンテナンスコストを削減できる。各コンポーネントは超軽量で、容易な取り外しから再取り付けが可能。

MTL最新型防爆タブレットは超軽量、業界最長バッテリーを搭載し標準で前後カメラ付きとなっている。

GMIジャパン (ブース12)
本質安全防爆製品とSILセーフティリレー等の製品を紹介

GM International社(イタリア・ミラノ)は、1993年設立だが、危険場所向け製品は40年を超え、全世界のプラント、即ちヨーロッパ、ロシア、北米、中東と東アジア、日本、中国で設置されている。

本質安全防爆緑形バリアは爆発エネルギー制限により爆発リスクを回避しながら、安全レイヤの連続した運転と効果を保証し、高い稼働率を実現。同社製品は世界中の権威ある防爆検定機関から認証を取得し、ATEX(ヨーロッパ)、IECEX(国際防爆規格)、UL/FM(米国とカナダ)、EAC-EX(ロシアCTUとウクライナ)、NEPSI、EX-CCC中国、PESO(インド)、TIIS、CML(日本)、INMETRO(ブラジル)などの認証を取得済みとなっている。

西華産業 (ブースA)
最先端&オンリーワンのガス計測、ガス可視化ソリューション

西華産業は脱炭素、DX、老朽化対策(保全改善)、水素管理など昨今喫緊な課題として注目を集めるテーマに対して、オンリーワン技術の計測機器での提案を行う。

30年以上の販売実績を誇るNeo monitorsレーザー式ガス分析計は、酸素や一酸化炭素、二酸化炭素などの燃焼効率に関わるガスをはじめ、今後の省エネルギーの鍵となる水素ガスの濃度を、レーザー式で唯一測定可能なシステム。

高温インラインガスセンサーは、最大2000℃までのガス流量が測定可能なオンリーワン製品。炉(電炉、高炉、転炉、キルン、分解炉、溶融炉、焼成炉)などの極めて高温かつダストが多いオフガスの流量を、インラインで測定可能となっている。

チノー (ブース36)
カーボンニュートラル実現や課題解決を支援する製品群

チノーは、計測・制御・監視技術によるカーボンニュートラル実現やお客さまの課題解決を提供することを目指した製品展示や小間内セミナーを実施する。

ブースでは、新エネルギー市場の温度測定、ガス漏れ検出として、本質安全防爆形白金コバルトシース測温抵抗体、エアリークカメラ、省エネ制御を実現する方法としてPID調整体験コーナー、「無線で工事不要!瞬時電力測定で省エネ対策」としてリアルタイム無線ログM-Zなどを紹介する。

ブース内セミナーでは、①「省エネをするための温度制御〜PID調整のやり方」②「放射温度計はなぜ触れないで測れるのか」③「チノーが提唱する極低温とは」の3つを実施する。

東芝インフラシステムズ/東芝デジタルソリューションズ (ブースT4)

産業用サーバと産業・工場向けサイバーセキュリティソリューション
東芝インフラシステムズと東芝デジタルソリューションズは、産業用サーバ「FS20000R」と産業・工場向けサイバーセキュリティソリューション「Claroty」を出展する。

FS20000Rは高性能・大容量を実現しつつ、長期供給・長期保守に対応、頑健性・拡張性や保守メンテナンス性を備えた産業用途向けサーバ。社会インフラ、製造プラント、生産ラインなど様々な分野に適用でき、現場で求められるエッジコンピューティングを支える。

Clarotyは、工場の稼働に影響なく導入できる制御システム向けの侵入検知ソフトウェア(OT-IDS)。産業・工場の現場で資産の可視化、脆弱性管理、ネットワーク監視による脅威検出を可能とし、サイバー攻撃の検知・迅速な対応を実現する。これらの機能を活用することで、お客さまのサイバーレジリエンスを高める。

さらに、FS20000RにClarotyを搭載することで、長期稼働が求められる過酷な現場に適用可能となる。

横河電機 (ブース1)

豊かな地球へ、つなく未来のものづくり
横河電機は、測る力とつなぐ力でのつくりの次世代を支え、お客さまの課題解決に取り組み、地球の未来へつなぐことをテーマに、「工場をまもる」「オペレーション革新」「新技術や未来を語る」の3つのゾーンに分けて取り組みを紹介する。

オペレーション革新ゾーンでは、1975年の発売から2025年で50周年を迎える総合生産制御システム「YOKOGAWAのCENTUM VP」、総合情報サーバCIサーバを出展。また来場者から困りごとを聞く特設コーナーを設置。製造プロセスや設備保全、働く環境、サプライチェーンについて課題解決のヒントになる展示を用意している。

またセキュリティソリューションを提供している企業6社が連携してサイバーセキュリティのテーマ展示を実施する。



あすみる、アズビル。

計測・制御技術を通して、ビル・工場・住宅の安心・快適の実現と地球環境に貢献します

アズビル株式会社

タナベコンサルティンググループ
WE ARE BUSINESS DOCTORS since 1957

ストラテジー & ドメイン / デジタル・DX / HR / ファイナンス・M&A / ブランディング&マーケティング

製造系研究会開催中!

日本全国の「ファーストコールカンパニー(顧客から一番に選ばれるサステナブル企業)」の先進事例、成功事例を研究。ゲスト企業による実践型講義・現場視察から、現場の「リアルなポイント」を学べます。また、同じ志を持つ多種多様な参加企業・参加者との情報交換も可能です。



先端技術研究会



スマートファクトリー研究会



東京都千代田区丸の内1-8-2、大阪市淀川区宮原3-3-41

タナベコンサル



©Expo 2025

Eplan×太陽ケーブルテック Eplan Data Portal活用法

日本のロボット、半導体製造装置、工作機械産業を支える100年企業の電線メーカー 日本市場での実績と製品の認知を海外へ

太陽ケーブルテックは、2023年に創業100周年を迎えた歴史ある電線・ケーブルメーカー。電線・ケーブルの中でも特にFA・産業機械向け、半導体製造装置や工作機械、ロボットといった生産設備向けにフォーカスして事業を展開。海外市場でも日本メーカーが存在感を発揮し、強い領域を電線・ケーブル技術で支えている。

Eplan Data Portalには2016年から製品の登録を開始。日本国内の産業機械メーカーの間ではよく知られ、輸出機械でもよく採用されているが、本格的な海外展開はまだ道半ば。世界中の設計者が利用するEplan Data Portalをステップとして海外での認知度を高め、需要の獲得を目指している。

東京営業部部长・加納祐二氏(右)と東京営業課課長・渡辺一人氏



寒性マイナス40℃の厳しい環境でも使えるものとなっている。

このほか産業ネットワークのフィールドバスからEthernet化に伴い、同社でもEtherCAT、CC-Link IE、MECHATROLINK対応のFAイーサネットケーブルなどもラインアップを増やしている。

海外事業の強化、新規領域の開拓に活用

会社として海外展開を強化しており、アメリカに現地法人を設立し、インドに営業拠点の開設を予定している。また国内でも医療機器など新規分野の開拓も進めている。これらと連動する形で、あらためてEplan Data Portalの活用方法を考えていきたいとしている。

加納氏は「現在はレポートを見るだけにとどまっていますが、グローバル化して海外事業の強化とリンクさせることで、Eplan Data Portalが案件化のきっかけになるような活用方法が出てくるのではないかと思っています。国内に関しても現在の半導体製造装置、工作機械、ロボットだけに特化せず、医療や医薬、食品、交通インフラ、EV充電器など伸びている業界に対して認知を広げていきたい。多くの産業機械メーカーで採用されているといっても、一部の事業部にとどまっているケースも多くあります。当社の営業担当も全事業部を回っているわけではなく、当社と製品が知られているわけではありません。それに対し、Eplan Data Portalによって、設計者が電気CADを使う際には必ず当社の製品と名前が出てくるようになっていけば啓発活動にもなります。引き続きEplan Data Portalの活用方法を検討していきたいと思っております」と話している。

創業1923年 産業機械向け電線・ケーブルに特化

同社の創業は1923年。大阪を拠点として関西、西日本を中心に電線・ケーブルの製造・販売を行っている。電線・ケーブルと一口にいっても民生品から産業用、グレードもさまざまだが、同社はロボットケーブルに代表されるような産業機械向けを中心に扱っている。

機械の動きに合わせて引きまわされる可動部用ケーブルと、制御盤内をはじめ機械内部で機器接続に使われる固定ケーブルの両方をそろえ、産業機械に必要な電線・ケーブルは一通り全てラインアップ。同社の電線・ケーブルは半導体製造装置、工作機械、ロボットなど日本で生産して海外へ輸出する機械での採用が多いことから、主要な海外規格を取得しているのが特長。ULとCEマーキングはほぼ全製品で取得済み。300ページ超のカタログに掲載されている製品は在庫を保有し、比較的短い長さにも柔軟に対応し、トータルソリューションとして提案している。

顧客は日本のロボットや工作機械、半導体製造装置メーカーが中心で、それら向けで売上げの9割を占めるという。さらに新規分野として、医療機器や交通インフラ、EV充電器などへの採用を目指し、提案を



強化している。

東京営業部部长の加納祐二氏は「産業機械に必要な電線・ケーブルを取りそろえ、即納や小口にもできるだけ対応し、かゆいところに手が届く形で商売をしています」と言う。

製品登録後、海外からの問い合わせが増加

Eplan Data Portalへの製品登録は2016年からスタート。輸出の多い産業機械の制御盤を手がけている制御盤メーカーからの依頼を受けたのがきっかけで、現在は2300製品を掲載している。特に海外市場での認知度を高めることを目的としている。

「登録を始めた当時は、日本では多くのメーカーに採用され、実績があるにもかかわらず、海外での認知度の低さから採用が限られていました。Eplanは世界でも社名が知られている電気CADで、日本だけでなく海外でも社名と製品をPRできることに期待してスタートしました」。掲載後は海外でのダウンロードも発生し、ホームページからの問い合わせでも海外からの問い合わせ件数が増加。今のところ期待した効果は出ていないが、肌感覚として、海外からの問い合わせも増

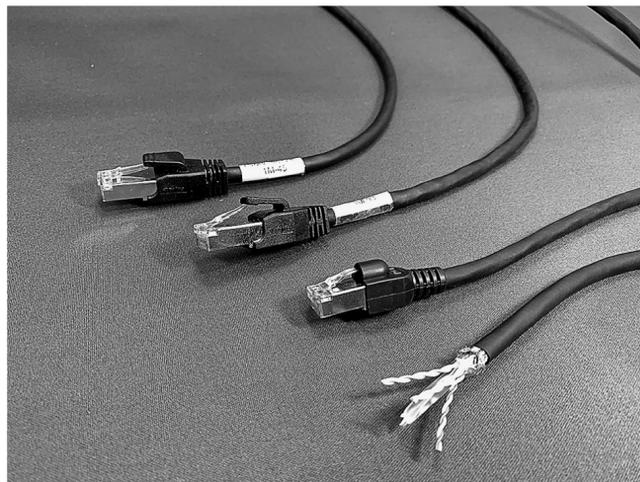
え、それが数年続いており、掲載した効果はあったと感じています。今は月次でダウンロードされたレポートを社内で見返して情報共有している形です」(東京営業課課長・渡辺一人氏)

日本の強みを生かした製品を海外へ

新製品を定期的に開発・販売しているが、Eplan Data Portalへ登録していない製品もある。その中には海外にはない特長を持つ製品や、市場からの需要が高いもの、中国市場にフォーカスしたものなど、ユニークなものも多数存在する。今後はこれらの特長的な製品の掲載も進めていきたいとしている。

例えば「RFXシリーズ」は、柔らかく、U字折り返し500万回をクリアした屈曲性に優れた絶縁電線。1000V RFX-MTW LFは1000V対応でUL CEマーキングに対応し、1000V RFX-SB LFはシールド付でEMC対策が施されたものになっている。海外メーカーの電線は固いものが多く、取り回しににくい。同製品は柔らかく曲げて使えるので制御盤内の省スペース設計に最適となっている。

「EM-TXT HF」は、ハロゲンフリーの環境配慮型の絶縁電線で、廃棄やリサイクル処理がしやすく、柔軟で、耐熱性125℃、耐



<https://www.taiyocable.com/>

“制御盤 DX” 体験・検証ショールーム 2024年9月開設

リタール アプリケーションセンターは、設計段階から、加工、組み立て、配線にいたるまで制御盤の製造工程をデータでつなげて、お客様のプロジェクトの検証を行ないます。カスタマーイベントも随時開催。

◆お問い合わせ◆リタール株式会社 contact@rittal.co.jp

リタール アプリケーションセンター

Join. Apply. Grow.



Rittal Application Center
詳細はこちら



工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■カネカ、北海道苫小牧市に医療機器プラントを竣工

カネカは、北海道の苫小牧東部地域に苫東工場が竣工。54年ぶりに開設する7カ所目となる新たな国内事業場になる。

苫東工場内に完成した医療機器プラントでは、吸着型血液浄化器「レオカーナ」および吸着型血漿浄化器「リボンバー」を生産する。ロボット技術を活用した「スマートファクトリー」としてラインの完全自動化を実現しているほか、今後は太陽電池を用いて工場建物の一次エネルギー消費量をゼロにする「ゼロエネルギーファクトリー」を実現する計画となっている。

■三輪鉄建、青森県上北郡七戸町に鉄骨の胴縁母屋加工の新工場

JFE商事グループのトーセン子会社で鉄骨の胴縁母屋専業ファブの三輪鉄建は、本社工場の老朽化に伴って青森県上北郡七戸町の本社敷地内に新工場を建設する。

近年は人手不足などが原因で鉄骨製作分業化が進む中、物件の大型化に伴う加工品種やサイズの変化に柔軟に対応できる体制の構築が急務となっている。現本社工場は築50年を超え、経年劣化や雪害による老朽化に加え、狭小のため作業動線の安全性も懸念され、屋内製品ヤードがないため、積雪時には出荷作業効率が低下するという課題があった。

今回の投資では4821平方メートルの新本社工場を建設。加工設備は現工場からの移設に加え、アマダ製の最新型複合機、ビームワーカー、バンドソーなどを新たに導入し、これまでの胴縁母屋だけでなく、鉄骨二次部材まで加工領域と対応力を高め、顧客ニーズに応えていく。

2024年8月末着工、2025年9月竣工、同年10月稼働予定。

■京セラ、長崎諫早市にファインセラミックや半導体パッケージの新工場

京セラは、長崎県諫早市にファインセラミックや半導体パッケージの新工場として長崎諫早工場を建設する。

現在、エレクトロニクス業界では、スマートフォンなどの通信端末や半導体関連機器の小型化・高機能化、5Gや生成AIの普及に伴う基地局やデータセンターの増設、また、自動車のADAS(先進運転支援システム)やEV技術の高度化など、さまざまな分野において、今後も高い部品需要の伸びが見込まれている。

新工場では、半導体製造装置に使用されるファインセラミック部品や半導体パッケージなど、順次生産を行っていく計画で、2026年度の拠点開設を目指す。

す。投資金額は、約680億円(2028年度までの計画)。敷地面積は、約15万平方メートル。鉄骨6階建てで建築面積は1万4959平方メートル、延床面積は8万799平方メートル。2024年9月着工、2026年度拠点開設、順次生産開始予定。

■JSR、関東に最先端フォトレジストの研究開発拠点、韓国に最終生産拠点を建設

JSRは、グローバルな電子材料事業体制の強化に向けフォトレジストの研究開発を拡充すべく関東地方に開発拠点を、韓国に最終生産工程の工場を新設する。

同社は2021年の米国Inpria社買収して以降、最先端EUV用フォトレジストであるメタルオキシドレジスト(MOR)の事業化を進めている。日本では、四日市工場内にある精密電子開発センターに加えて、グローバルな顧客対応やパートナー企業と連携しやすい関東エリアに新たなMOR用の研究開発拠点を整備し、今秋から工事に着手する。

また韓国でもMORの最終生産工程を担う工場を建設する。MORは韓国における大手顧客での採用検討が進んでおり、2026年の稼働開始を見込んでいる。

■ケミカルリサイクル・ジャパン、千葉県市原市に油化ケミカルリサイクル装置を備えた市原事業所建設

出光興産の子会社のケミカルリサイクル・ジャパンは、千葉事業所(千葉県市原市)の隣接地にCRJの「市原事業所」を建設する。市原事業所内には油化ケミカルリサイクル装置を建設し、使用済みプラスチックの再資源化を目指す。処理能力は年間2万トン。市原事業所の完工と油化ケミカルリサイクル装置の商業運転開始は、2025年度下期を予定している。

■倉元製作所、岩手県一関市にペロブスカイト太陽電池の自動製造ライン設備を整備

倉元製作所は、ペロブスカイト太陽電池事業の開始に向け、岩手県一関市の花泉工場にペロブスカイト太陽電池の自動製造ラインを導入する。設備の取得予定価格は約10億2200万円。取得先は国外法人で2025年2月の引き渡しを予定している。

■正興電機製作所、北九州学術研究都市内に研究開発センター建設

正興電機製作所は、北九州学術研究都市内に「ひびきの研究開発センター(仮称)」を建設する。研究開発棟(Tサイト)と先端ものづくり棟(Mサイト)で構成され、Tサイトは地上3階建鉄骨造で、建築面積は700平方メートル。Mサイトは地上2階建鉄骨造で、建築面積は1700平方メートル。2024年10月着工予定。2026年4月竣工予定。投資額は、約41億円。

■大阪チタニウムテクノロジーズ、兵庫県尼崎市の本社工場でスポンジチタン生産能力増強

大阪チタニウムテクノロジーズは、兵庫県尼崎市の本社工場でスポンジチタンの生産能力を増強する。世界的なチタンのサプライチェーン再編によって航空機向けのスポンジチタン需要は強まっており、一般産業用途向けのスポンジチタン需要も堅調に推移している。それに対し同社は、本社の尼崎工場の既存のインフラを生かし、スポンジチタンの生産能力を増強す

る。生産能力増強規模は現行の年間4万トンから増強後は年間5万トンになる計画。2027年度末までの完工を目指す。投資額約330億円。

■中部電力、三重県四日市の四日市水沢第一アグリソーラーの運転を開始

中部電力は、子会社のCR-01を通じて、同社初の営農型太陽光発電事業を三重県内7地点で進めており、そのうち四日市水沢第一アグリソーラーの建設工事を完了し、営業運転を開始した。発電出力399キロワットの営農型太陽光発電所となり、残りの6地点も本年度中の運転開始に向け、順次計画を進めていく。

■大建工業、津市の三重工場のシート化粧材床材ラミネートラインで水性接着剤塗布設備を増設

大建工業は、床材を生産する三重工場(三重県津市)で、約1億5000万円を投資してシート化粧材床材の製造工程の一部となるラミネートラインに、環境負荷の低い「水性接着剤」の塗布設備を増設した。

ポリウレタン系接着剤専用ラインに水性接着剤を塗布する設備を導入し、本格稼働を開始。これによりポリウレタン系接着剤専用ラインは水性接着剤を含めた両接着剤に対応できる生産ラインとなった。水性接着剤の使用割合を現状の7割から9割へと引き上げ、環境負荷の低減を進める。

■オキサイド、山梨県北杜市の第4工場第2期工事が完了。レーザー装置のメンテと部品内製

オキサイドは、山梨県北杜市の第4工場の第2期工事が完了した。

これまで横浜事業所で新規レーザー装置の製造とメンテナンスの両方を行ってきたが、第4工場では半導体事業の主力製品であるレーザー装置のメンテナンスと一部主要部品の内製化に取り組む。第4工場稼働により新規レーザーとメンテナンスを合わせたレーザー装置の総生産キャパシティは従来の約3倍になる見込み。

敷地面積は9259平方メートル。建築面積は4061平方メートル。延床面積は4015平方メートル。鉄骨造平屋建て。投資額は18億円。

■デンソー、福島県田村市のデンソー福島でインバータ生産ラインを立ち上げ

デンソーは、福島県田村市のデンソー福島でインバータの生産を開始する。

デンソー福島は、現在生産しているカーエアコンやエンジンクーリングモジュール(ECM)などの自動車用熱機器製品やガソリンエンジン用燃料系製品に加え、第2工場内に新たにインバータ生産ラインを立ち上げ、インバータの生産を開始。これまで国内では、電動化のグローバルマザー工場である安城製作所と広瀬製作所でインバータを生産していたが、さらなる電動化加速を見据え、デンソー福島でも生産を開始した。

今回の生産拡大により、グローバルでは北米のデンソー・マニュファクチャリング・テネシー、欧州の

デンソー・マニュファクチャリング・ハンガリー、中国の天津電装電子、天津電装電機ならびに電装(広州南沙)を含む、世界4極8拠点でのインバータ生産体制を整え、世界各地の需要に迅速に対応していく。

■パナソニックエナジー、マツダと協業で車載用円筒形リチウムイオン電池供給

パナソニックエナジーとマツダは、マツダが2027年以降に導入を予定するバッテリーEVへの搭載を見据えた次世代の車載用円筒形リチウムイオン電池の供給に向けて本格的な準備を開始する。

パナソニックエナジーは2027年以降に大阪府の住之江工場と貝塚工場で生産する円筒形リチウムイオン電池セルを供給し、マツダがモジュール・パック化する計画。それに向けてパナソニックエナジーはセル生産能力の増強を進め、この協業による国内拠点でのセルの生産能力を2030年までに6.5GWh/年増強し、年間10GWhまで引き上げる。投資金額は約833億円。

また同計画は経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定され、助成金額は最大約283億円。

■パナソニックエナジー、SUBARUと協業で群馬県大泉町にリチウムイオン電池工場を新設

パナソニックエナジーとSUBARUは、車載用円筒形リチウムイオン電池の供給に関する協業基本契約を締結し、SUBARUが2020年代後半から生産予定のバッテリーEVへ搭載するために、パナソニックエナジーの次世代の車載用円筒形リチウムイオン電池を供給し、それに向けて群馬県大泉町に両社でリチウムイオン電池工場を新設する。

SUBARUは、2030年にグローバル販売台数120万台のうち50%をバッテリーEV化することを目標に掲げている。今回の協業では、パナソニックエナジーが2027年度から大阪の住之江工場で、2028年度からは両社で群馬県大泉町に新設するリチウムイオン電池工場で生産し供給する円筒形リチウムイオン電池を使用し、SUBARUが生産予定のバッテリーEVに搭載することを計画している。この協業による国内2拠点でのセルの生産容量は2030年末までに年間20GWhを計画している。投資金額は約4630億円。

また同計画は経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定され、助成金額は最大約1564億円。

■日産自動車、車載用蓄電池の開発・量産を強化

日産自動車は、同社の車載用蓄電池(LFPバッテリー)の開発および量産が、経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定され、日本国内でLFPバッテリーの開発および量産を強化する。生産規模は5GWhで、2028年度に軽電機自動車から搭載を開始する予定。

事業総額は約1533億円。助成金額は約557億円。

事業総額は約1533億円。助成金額は約557億円。

事業総額は約1533億円。助成金額は約557億円。

Fukunishi

人・技術・情報の
架け橋となり、
最適解で「福」あふれる
未来をつくる。

福西電機株式会社

Just in your products
Just Products

**挑戦する盤メーカーを
サポートする会社**

コスト、生産性、脱炭素。
それだけにどどまらない、
銅バー加工の外注化の
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

UNIX JAPAN UNIX

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格

グローバルに通用する製品品質を備え、
世界各地での躍の第一歩に——



ジャパンユニックスでは
IPCの標準規格書・情報・サービスを
提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で 検索

はんだ付工程を
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・
『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開

『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
<http://www.japanunix.com>

本 社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554

大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503